



令和5年度 学校だより 6月号

なかお



第446号

令和5年5月25日

発行者 横浜市立中尾小学校

校長 廣瀬 ユミ

<https://www.educity.yokohama.lg.jp/school/es/nakao/>

逆転の発想～よりよい活動を目指して～

副校長 早坂 考史

5月8日より、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類相当から5類に移行しました。学校では4月にもお知らせいたしましたように、子どもたちや教職員、来校者の皆様に対してマスクの着用は求めず、個人の主体的な選択を尊重して参りました。しかし、気温の上昇とともに熱中症の危険が高まることから、登下校時や運動時に関してはマスクを外すよう呼びかけております。保護者の皆様のご理解・ご協力のほどよろしく願いたします。

そんな中、5月27日（土）に「中尾小スポーツフェスタ2023」が開催されます。現在は本番に向けて練習の真っ最中です。校庭からは、子どもたちの元気な声と演技種目の音楽が聞こえてきます。今年度のスポーツフェスタは、久々に保護者の方の参観人数に制限を設けないことになりました。今まで来校を控えていただいた皆様にも、子どもたちの晴れの姿を存分に見ていただきたいと思っております。様々な緩和とともにコロナ禍前に戻る教育活動もあれば、新たな形で取り組む教育活動もあります。その一つがスポーツフェスタの午前開催です。炎天下の中で過ごす子どもの身体的負担を減らすために種目の精選をし、短時間で充実したものになるようにしました。コロナ禍により様々な制限がかかる中で模索していった方法が、逆に子どもたちにとってよりよい方法を考えるきっかけとなったのです。

一昨年お亡くなりになった作家の瀬戸内寂聴さんは、著書の中で「つらい経験をくぐり抜けると、人は優しく、思いやり深くなります。人生のマイナスはプラスに逆転させることができるのです。」という言葉を残されています。教育活動においても、コロナ禍でできなかったことや失ったものを数えるのではなく、逆転の発想でよりよいものにするための新たな取り組みへ挑戦し続けたいと考えています。

